

令和2年8月22日



担当課	総務企画課
担当者	山田原
電話	(073) 488-5102
内線	

3類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市内在住 30歳代 女性
届出年月日	令和2年8月21日
経過	<p>8月15日（土）腹痛 8月16日（日）腹痛、下痢、血便 8月17日（月）腹痛、下痢、血便 医療機関受診 8月21日（金）便検査の結果 O157 ペロ毒素（+）と判明 主治医より届出</p> <p>現在、症状は快方に向かっています。</p>
病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市内在住 20歳代 男性
届出年月日	令和2年8月21日
経過	<p>8月15日（土）腹痛 8月16日（日）腹痛、下痢、血便にて医療機関受診 8月21日（金）便検査の結果 O157 ペロ毒素（+）と判明 主治医より届出</p> <p>現在、症状は快方に向かっています。</p>

プライバシーの保護については、十分なご配慮をお願いします。

《参考 本症の発生状況》

令和2年8月22日現在

	和歌山市	和歌山県（市内含む）	備考
令和2年	3名（1名無症状者含む）	6名（2名無症状者含む）	本患者含む
令和元年	13名（1名無症状者含む）	25名（7名無症状者含む）	
平成30年	4名（1名無症状者含む）	17名（3名無症状者含む）	

- ・腸管出血性大腸菌感染症は、年間を通じて発生する感染症です。
- ・調理の前や食事前、また排便後などには、十分に手洗いをしてください。
- ・食品を十分に加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきる等の注意が大切です。
- ・特に、生肉又は加熱不十分な食肉を食べないようにしてください。
- ・小さなお子さんや高齢者は、感染した場合、発病しやすいので注意が必要です。
- ・腹痛・下痢などの症状がみられた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。